

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社  
 コード番号 2812 URL <http://www.y SKF.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

(氏名) 坂井 和男  
 (氏名) 塩澤 泰  
 配当支払開始予定日

TEL 054-202-6044  
 平成21年12月4日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	11,342	9.5	939	77.3	1,005	71.5	625	89.2
21年3月期第2四半期	10,358	—	529	—	586	—	330	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	44.50	—
21年3月期第2四半期	23.51	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	21,807	17,163	78.7	1,221.51
21年3月期	20,535	16,525	80.5	1,176.11

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 17,163百万円 21年3月期 16,525百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
22年3月期	—	10.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	9.00	19.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

※21年3月期 期末配当14円00銭は、記念配当5円00銭が含まれています。

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,300	11.0	1,650	61.6	1,780	56.0	1,050	70.2	74.73

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は5ページ「定性的情報、財務諸表等、4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	14,056,198株	21年3月期	14,056,198株
---------------------	-------------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	5,109株	21年3月期	5,059株
-----------	-------------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	14,051,096株	21年3月期第2四半期	14,051,824株
----------------------	-------------	-------------	-------------	-------------

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）におけるわが国経済は、一部に在庫調整が進み政府による経済対策等により回復の傾向が見られるものの依然として雇用情勢、消費動向などで厳しい状況が続いています。

食品業界におきましても、「食」の安全・安心の問題、原材料価格の不安定化、消費の伸び悩みなどにより、売上・収益とも引続き厳しい環境にあります。

このような状況の中、当社グループ（当社及び連結子会社）は「おいしさと健康」をテーマに「3ヵ年中期経営計画」の最終年度として、着実に成果を上げるべく注力してまいりました。

当社の主力である調味料事業では、当社の乾燥技術を駆使したCVD（連続真空乾燥機）加工品が予想を大幅に上回り、増収の主要因となりました。また、前累計期間に引続き「風味氷結シリーズ」「低塩調味料シリーズ」などの新製品の開発及び販売により中食分野・業務用マーケットへの展開を進めてまいりました。

機能食品事業では、「N-アセチルグルコサミン」「海洋性コラーゲン」などの当社独自の製品の拡販を展開し、素材としての市場拡大に注力してまいりました。

また、水産物事業では新規取引先の開拓と並行し大胆なリストラを行った結果、前年同期間比大幅な業績向上となりました。

以上の結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は113億42百万円（前年同期比9.5%増加）、営業利益では原料・燃料価格の低下に伴う製造コストの減少や経費削減効果もあいまって9億39百万円（同77.3%増加）、経常利益では10億5百万円（同71.5%増加）、四半期純利益は6億25百万円（同89.2%増加）の増収増益となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別の業績は以下のとおりです。

#### （調味料事業）

調味料事業は、景気低迷により国内需要の伸びは頭打ちでしたが、第1四半期に続き当社のCVD技術を要する調味料加工品の販売が大きく伸び、全体の売上増加に貢献しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は58億94百万円（前年同期比8億23百万円、16.2%増加）、営業利益は9億13百万円（同4億55百万円、99.4%増加）となりました。

#### （機能食品事業）

機能食品事業は、機能性素材製品の売上は順調に推移しましたが、医療栄養食（レトルト）分野で一部取引先が内製化したことにより全体の売上が減少しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は34億69百万円（同2億10百万円、5.7%減少）となりましたが、利益率の高い機能性素材の売上増加から利益率は向上し、営業利益は3億69百万円（同48百万円、15.0%増加）となりました。

#### （水産物事業）

水産物事業は従来、仕入価格の変動が激しく販売価格に転嫁することが難しく利益確保が難しい部門でしたが、新規開拓の努力と大幅な経費削減などのスリム化を実施した結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は14億74百万円（同3億46百万円、30.7%増加）、営業利益は83百万円（同79百万円、21.5倍増加）と大幅な伸びとなりました。

#### （その他の事業）

その他事業は、業務用・家庭用のワサビ類を中心とする香辛料や個包装食品などの分野であります。当第2四半期連結累計期間の売上高は5億3百万円（同24百万円、5.1%増加）となりましたが利益率が低位な上に製造コストを賄いきれず18百万円の営業損失を計上いたしました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比12億72百万円増加し、218億7百万円となりました。これはたな卸資産が1億21百万円減少したものの、受取手形・売掛金（9億61百万円増加）、現金及び預金（2億75百万円増加）、有価証券（1億1百万円増加）などの流動資産が11億94百万円増加したことに加え、投資有価証券の評価が2億12百万円増加したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比6億34百万円増加し、46億44百万円となりました。これは借入金が2億74百万円返済により減少し、買掛金（5億17百万円増加）、未払法人税等（1億33百万円増加）などが増加したためであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前会計年度末比6億37百万円増加し、171億63百万円となりました。これは利益剰余金（4億28百万円増加）、その他有価証券評価差額金（1億85百万円増加）などの増加が主な要因であります。

この結果、自己資本比率は78.7%となりました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ4億82百万円増加し、25億円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動の結果、得られた資金は9億54百万円（前年同期比7億58百万円増加）となりました。

この内訳の主なものは、売上債権の増加9億61百万円（同2億57百万円増加）、法人税等の支払額2億62百万円（同61百万円増加）などの資金減少要因に対し、税金等調整前四半期純利益の9億95百万円（同4億35百万円増加）、減価償却費3億25百万円（20百万円増加）、仕入債務の増加5億17百万円（同67百万円増加）などの資金増加要因によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動の結果、増加した資金は6百万円（同4億32百万円増加）となりました。

この内訳の主なものは、定期預金の預入に対し払戻しが2億7百万円多かったこと、設備投資による支出が1億98百万円（同2億99百万円減少）に留まったことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動の結果、使用した資金は4億85百万円（同1億84百万円増加）となりました。

この内訳の主なものは、配当金の支払いに1億94百万円（同69百万円増加）、短期借入金の純減少1億22百万円（同1億21百万円増加）、長期借入金の返済1億65百万円（同7百万円減少）などによるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間において、調味料製品の売上が大幅に増加したことや子会社の新規取引先開拓により売上高が予想以上に増加し、収益面では原料・燃料価格の低下、経費削減効果などにより増収増益が見込まれたため、平成21年10月30日付で「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

下期につきましても、今後の消費動向の変化等による不安定要因はありますが、引き続き調味料製品の販売が継続することや子会社においても安定した売上が見込まれることにより、下記のとおり10月30日付で修正いたしました。

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正（自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	20,350	1,070	1,200	700	49.82
今回発表予想（B）	22,300	1,650	1,780	1,050	74.73
増減額（B－A）	1,950	580	580	350	—
増減率（％）	9.6	54.2	48.3	50.0	—

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,449,606	3,174,227
受取手形及び売掛金	5,415,776	4,454,361
有価証券	201,173	100,135
商品及び製品	1,311,929	1,519,193
原材料及び貯蔵品	1,376,520	1,290,412
繰延税金資産	121,680	97,405
その他	85,046	128,162
貸倒引当金	△12,200	△9,300
流動資産合計	11,949,533	10,754,597
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,765,712	2,709,985
機械装置及び運搬具（純額）	1,518,286	1,589,685
土地	2,389,732	2,389,732
リース資産（純額）	32,673	—
建設仮勘定	70,357	71,027
その他（純額）	89,879	98,793
有形固定資産合計	6,866,641	6,859,225
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	2,207,069	1,994,457
繰延税金資産	382,845	508,500
その他	383,371	375,406
貸倒引当金	△34,799	△18,654
投資その他の資産合計	2,938,486	2,859,710
固定資産合計	9,854,441	9,773,150
繰延資産	3,736	7,473
資産合計	21,807,711	20,535,222

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,440,938	1,923,456
短期借入金	157,403	266,610
1年内返済予定の長期借入金	280,000	328,000
1年内返済予定のリース債務	6,038	—
未払法人税等	406,538	272,918
未払消費税等	64,669	12,924
賞与引当金	204,536	135,731
役員賞与引当金	23,700	—
その他	503,500	419,049
流動負債合計	4,087,324	3,358,689
固定負債		
長期借入金	—	117,500
リース債務	28,267	—
繰延税金負債	25,201	28,108
退職給付引当金	353,106	350,261
長期未払金	139,731	144,531
その他	10,465	10,465
固定負債合計	556,773	650,867
負債合計	4,644,098	4,009,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,133	3,414,133
利益剰余金	10,169,353	9,740,768
自己株式	△5,671	△5,621
株主資本合計	17,195,458	16,766,923
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△48,022	△233,640
為替換算調整勘定	16,177	△7,617
評価・換算差額等合計	△31,844	△241,258
純資産合計	17,163,613	16,525,664
負債純資産合計	21,807,711	20,535,222

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	10,358,142	11,342,876
売上原価	8,262,142	8,728,292
売上総利益	2,096,000	2,614,583
販売費及び一般管理費	1,566,311	1,675,204
営業利益	529,688	939,378
営業外収益		
受取利息	7,830	5,126
受取配当金	38,410	33,958
受取賃貸料	6,085	9,017
その他	32,031	34,987
営業外収益合計	84,358	83,089
営業外費用		
支払利息	12,084	6,230
為替差損	7,068	2,599
たな卸資産廃棄損	—	4,112
開業費償却	—	3,551
その他	8,886	702
営業外費用合計	28,039	17,195
経常利益	586,007	1,005,273
特別利益		
固定資産売却益	—	171
特別利益合計	—	171
特別損失		
固定資産除却損	3,381	3,502
投資有価証券評価損	22,750	—
災害による損失	—	6,355
その他	60	31
特別損失合計	26,191	9,888
税金等調整前四半期純利益	559,815	995,555
法人税等	229,398	370,254
四半期純利益	330,417	625,301

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	559,815	995,555
減価償却費	305,616	325,970
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	24,769	2,844
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	242	19,045
賞与引当金の増減額 (△は減少)	66,362	68,804
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,270	23,700
受取利息及び受取配当金	△46,241	△39,085
支払利息	12,084	6,230
為替差損益 (△は益)	4,504	96
有形固定資産除却損	3,381	3,502
有価証券売却損益 (△は益)	△402	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	22,750	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△704,113	△961,193
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△325,853	123,070
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	13,230	45,050
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△4,397	△8,677
仕入債務の増減額 (△は減少)	449,144	517,099
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△55,503	57,902
長期未払金の増減額 (△は減少)	△1,080	△4,800
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	16,592	△13,784
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△780	—
その他	3,831	22,787
小計	362,224	1,184,118
利息及び配当金の受取額	46,255	39,085
利息の支払額	△11,936	△6,451
法人税等の支払額	△200,731	△262,467
営業活動によるキャッシュ・フロー	195,812	954,284
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,429,045	△755,378
定期預金の払戻による収入	1,393,627	962,845
有価証券の取得による支出	△199,914	△38
有価証券の売却による収入	201,288	—
有形固定資産の取得による支出	△498,301	△198,425
無形固定資産の取得による支出	—	△790
投資有価証券の取得による支出	△3,856	△2,573
投資有価証券の売却による収入	110,310	—
その他	△126	661
投資活動によるキャッシュ・フロー	△426,018	6,301

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△978	△122,126
長期借入金の返済による支出	△173,498	△165,500
自己株式の取得による支出	△369	△49
自己株式の売却による収入	67	—
配当金の支払額	△125,777	△194,825
リース債務の返済による支出	—	△2,875
財務活動によるキャッシュ・フロー	△300,555	△485,377
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,612	7,638
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△535,374	482,846
現金及び現金同等物の期首残高	2,583,273	2,017,981
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	26,580	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,074,479	2,500,828

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日）

	調味料事業 (千円)	機能食品事業 (千円)	水産物事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	5,070,582	3,679,975	1,128,258	479,325	10,358,142	—	10,358,142
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	52,497	—	5,837	17,039	75,374	(75,374)	—
計	5,123,080	3,679,975	1,134,095	496,364	10,433,516	(75,374)	10,358,142
営業利益	457,881	321,806	3,869	105,078	888,635	(358,947)	529,688

(注) 1. 事業区分の方法

当連結グループの事業区分の方法は、製品・商品の種類、性質等の類似性を考慮のうえ、食品メーカーに対する業務用の各種調味料の部門、キッチン・キトサンなど海洋機能性素材、またそれらを原料とした製品群及び、医療栄養食を主体とする機能食品部門、冷凍マグロ、カツオ加工、倉庫業を中心とする水産物事業部門、業務用・家庭用のワサビ類を中心とする香辛料や個包装食品などのその他の部門とに区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
調味料事業	各種エキス、各種オイル、各種スープ、各種粉末調味料、風味調味料、各種具・惣菜
機能食品事業	各種海洋機能性素材、各種オリゴ糖類、キッチン・キトサン類、医療栄養食
水産物事業	冷凍マグロ、カツオ加工、魚問屋、倉庫業
その他の事業	各種ワサビ類、各種辛子類、各種香辛料、各種個包装食品

3. 営業費用の取り扱いの変更

事業の種類別セグメント情報における営業費用について、セグメント別の営業損益をより適正に表示するため、その発生の態様と配賦基準を見直しました。

この変更により、変更前の方法によった場合と比較して、当連結会計年度の第2四半期連結累計期間の「機能食品事業」及び「その他の事業」の営業利益は、それぞれ56,208千円及び123,638千円増加し、「調味料事業」、「水産物事業」及び「消去又は全社」欄の営業利益は、それぞれ5,871千円、2,331千円及び171,643千円減少しております。

4. 会計処理の方法の変更

(たな卸資産の評価に関する会計基準)

「定性的情報・財務諸表等 4.その他(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更②たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益は、「調味料事業」で15,345千円、「機能食品事業」で4,133千円、「その他の事業」で785千円それぞれ減少しております。

5. 有形固定資産の耐用年数の変更

「定性的情報・財務諸表等 4.その他(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法の変更④有形固定資産の耐用年数」に記載のとおり、当社及び連結子会社の機械装置の耐用年数については、従来8～9年としておりましたが、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、10年に変更いたしました。

これにより、営業利益が「調味料事業」で3,608千円、「機能食品事業」で8,659千円、「水産物事業」で746千円、「その他の事業」で145千円増加しております。

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

	調味料事業 (千円)	機能食品事業 (千円)	水産物事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	5,894,140	3,469,933	1,474,979	503,821	11,342,876	—	11,342,876
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	55,080	863	7,894	22,766	86,604	(86,604)	—
計	5,949,221	3,470,796	1,482,874	526,588	11,429,480	(86,604)	11,342,876
営業利益又は営業損失(△)	913,112	369,992	83,386	△18,717	1,347,772	(408,394)	939,378

(注) 1. 事業区分の方法

当連結グループの事業区分の方法は、製品・商品の種類、性質等の類似性を考慮のうえ、食品メーカーに対する業務用の各種調味料の部門、キッチン・キトサンなど海洋機能性素材、またそれらを原料とした製品群及び、医療栄養食を主体とする機能食品部門、冷凍マグロ、カツオ加工、倉庫業を中心とする水産物事業部門、業務用・家庭用のワサビ類を中心とする香辛料や個包装食品などのその他の部門とに区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
調味料事業	各種エキス、各種オイル、各種スープ、各種粉末調味料、風味調味料、各種具・惣菜、各種低塩調味しょうゆ・しお
機能食品事業	各種海洋機能性素材、各種オリゴ糖類、キッチン・キトサン類、医療栄養食
水産物事業	冷凍マグロ、カツオ加工、魚問屋、倉庫業
その他の事業	各種ワサビ類、各種辛子類、各種香辛料、各種個包装食品、各種受託加工類

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年9月30日）

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,329,770	28,371	10,358,142	—	10,358,142
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	178,186	178,186	(178,186)	—
計	10,329,770	206,558	10,536,329	(178,186)	10,358,142
営業利益又は営業損失(△)	892,560	△2,324	890,235	(360,547)	529,688

(注) 従来、全セグメント売上高の合計、営業損益及び全セグメントの資産の合計額における「日本」の割合が90%を超えていたため、所在地別セグメント情報の記載を省略しておりましたが、「日本」の資産の割合が90%以下となったため、当連結会計年度から所在地別のセグメント情報を記載しております。

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

	日本 (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	11,312,268	30,607	11,342,876	—	11,342,876
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	32,273	111,886	144,159	(144,159)	—
計	11,344,542	142,493	11,487,035	(144,159)	11,342,876
営業利益又は営業損失(△)	1,358,035	△10,262	1,347,772	(408,394)	939,378

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成21年9月30日）及び当第2四半期累計期間（自平成21年4月1日至平成21年9月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。